

広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER

リーダーたちの本棚 vol.40



日本医師会 会長 横倉義武さん

人間・野口英世に親しみと敬意

子供の頃は、家にあった世界少年少女文芸全集や偉人伝を熱心に読んでいた。父が医師だったからだろうか、野口英世の伝記に強い感銘を受けた覚えがあります。後年読んだ『遠き落日』は、英世の偉業だけではなく、彼の浪費癖や功名心が赤裸々に描かれた小説で、伝記とは異なる印象で、でも、私にもいい歳になっていたのだから、

いろいろ読むほど先入観から開放される

人間とはそういうものだ、むしろ親しみがありました。元整形外科医である渡辺淳二さんの筆は、英世が幼少期にやけどを負った左手の手術を描写し、明治期の農村医療の頼りなさを伝えます。母親のシカや、学費を援助した血闘守一助医師など、周囲の大人が就学を助けた経緯は、私の祖父に重ねて読みました。英世と同時代に生きた祖父は、石川県の田舎の次男坊で、学業成績を認められて官備だった叔父の書生となり、東大の鉱山学科を経て鉱業に携わりました。学問で人生を切り開いた英世と似ています。良心ある大人が若き才能を支えた時

目指すはボトムアップの医療

「死ぬまで元気でいたい。長寿を、子供に迷惑をかけたくない。患者さんから最も多く聞かれる声です。今後ますます進む高齢化、地域医療が国民の健康と幸せの鍵を握っていると思います。横倉さんは、地元福岡で診療活動を続けながら医師会に参加してきました。『個々の医師が何を言っても行政は相手にしてくれないが、医師会に意見をまとめて働きかけると物事が動く』と実感し、ボトムアップの医療を目指して会長選に立候補。就任後、日本医師会は『継続を最大の柱に、国民皆保険です。全国民がいつでもどこでも良質な医療を受けられる体制を維持しなければならぬ』と掲げています。改革としては、



1944年福岡県生まれ。69年久留米大医学部卒。同年4月久留米大医学部第2外科入局。77年西ドイツミュンヘン大学教育病院デトモルト病院外科留学。80年久留米大医学部講師(83年)。90年医療法人弘恵会ヨコクラ病院院長。97年理事長(〜現在)。99年中央社会保険医療協議会委員(〜02年)。2010年社会保険審議会医療部委員(〜12年)。90年福岡県医師会(〜98年)。92年大牟田市医師会(〜04年)。98年福岡県医師会理事。02年同副会長。06年同副会長。10年日本医師会副会長。12年4月から現職。

この4月に日本医師会会長に就任した横倉義武さん。地域医療の充実、超高齢化社会への対応、医師の偏在対策など、医療現場が直面するさまざまな課題に取り組み。読書の時間は、移動の間と就寝前。多いときには月に10冊は読んでいますが、今は忙しくてなかなか……。それでも、新しい読書スタイルにも親しむ。医療の仕事と関係の深い本を中心に紹介してくれました。

横倉義武さんがすすめる5冊

Book recommendations section featuring titles like '国民皆保険が危ない', '和して争わず', '百朝集', '徳川家康', '遠き落日', and '地球の落日'.

Large advertisement for '一流の男' (The First-Class Man) by Rikuzo Nakamura, featuring a '25万部突破!!' badge and promotional text about male success.

Advertisement for Mikasa Shoten (三笠書房) featuring books like 'すごい説得力' and '禅、シンプル生活のすすめ'.

Advertisement for '一生愛のルール' (Rules for a Lifetime of Love) by Kenji Hirayama, discussing relationships and self-love.

Advertisement for '一流の男' (The First-Class Man) by Rikuzo Nakamura, detailing the book's content and success.